

認知症作業療法 活動報告（概要）

宮崎県作業療法士会では、昨年度より地域関連事業に重点的に取り組む「地域包括ケアシステム推進部」を新設し、その一部門として「認知症対策担当」を設けた。これまでは特設委員会（認知症初期集中支援チーム参画強化委員会）が認知症関連事業を担ってきたが、今後は常設化された部門で事業を展開していく予定となっている。

今年度は、認知症作業療法の普及啓発&人材育成のためのシステム構築を目的に下記の事業に取り組んでいく。

県内作業療法士の認知症施策への関与に関する実態調査

平成31年1～2月に実態調査を実施した。

認知症初期集中支援事業に関しては、市町村からの要請を受け、県内5市町村で作業療法士がチーム員、または初期集中支援チーム検討委員会委員として活動。

今後、地域の中で認知症の人や家族介護者への支援に作業療法士が関わって行くために必要なこととして、認知症の人や介護者への具体的な関わり方を学ぶ機会や「認知症の人と家族の会」等の関連団体との連携作り等、多くの意見が寄せられた。

認知症アップデート研修の開催

令和元年9月28日（土）

会場：新富町総合交流センター 参加者：26名

「世界及び日本における認知症の課題」

講師：岩切

「認知症の障害の本質と認知症原因疾患への理解」

講師：押川真唯

「BPSDの原因・背景及び障害構造の理解」

講師：桜川淳也

「認知症OTにおけるアセスメントとマネジメント」

講師：道本純子

「若年性認知症の現状と課題」 講師：生田みい子



認知症作業療法ステップアップ研修の開催

令和元年10月27日(日)

会場：宮崎市中央公民館

「認知症の人の意味ある作業をどう捉えるのか～作業療法介入とその効果～」

講師：井口 知也（大阪保健医療大学 准教授）

「認知症の人と家族の会」との連携作り

「認知症の人と家族の会」主催の「介護者の集い」への参加。「若年性認知症の人の本人交流会」へのサポーター協力。

今後の展開

- ・ 認知症OTの人材育成を目的に、認知症作業療法ステップアップ研修を継続開催。
- ・ 「介護者の集い」や「若年性認知症の人の本人交流会」への参加を通して、家族の会との連携作りを図っていく。